

港南小学校だより

7月号

二十四節気・七十二候

<7月の二十四節気>

- ・7月7日 小暑
やや暑熱を催す
- ・7月23日 大暑
蒸暑酷暑を感ず

<7月の七十二候>

- ・半夏生
はんげしようず
→鳥柄杓が生える
- ・温風至
あつかぜいたる
→暖かい風が吹いてくる
- ・蓮始開
はすはじめてひらく
→蓮の花が咲き始める
- ・鷹乃学習
たかすなわちわざをならう
→鷹の幼鳥が飛ぶことを覚える
- ・桐始結花
きはじめてはなをむすぶ
→桐の実が生り始める
- ・土潤溽暑
つちうるおうてむしあつ
→土が湿って蒸し暑くなる

豊かな経験・体験を

校長 船木 亮作

厚い雲に遮られていた太陽がキラキラと照りつける夏がやってきました。

さて、六月は六年生とわかば学級の移動教室がありました。親元を離れ、集団生活を送る中で育まれる力は、相当なものです。自分自身の荷物の整理や布団の上げ下げ、食事の準備など普段、家族が大部分を担ってくださっていることを友達と協力しながら行っていく必要があります。ここでは、これまでの生活経験によって差が生じてきます。例えば、食事係の準備を見てみると、箸やスプーンの方向をきちんと揃えて並べたり、お櫃からご飯がこぼれないようによそったり、これまでの経験によって大きな違いが見られました。しかし、四日間過ごす中で、食べる側の気持ちになり、きちんとよそったり、食器を揃えたりできるようになってきます。まさしく体験によって得られた成長です。

文部科学省も直接体験活動の教育的意義を次のように述べています。直接体験は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力など生きる力の基盤、子供の成長の糧としての役割が期待されます。子供たちは、具体的な体験や事物との関わりをよりどころとして、感動したり、驚いたりしながら「なぜ、どうして」と考えを深める中で、実際の生活や社会、自然の在り方を学んでいきます。そして、そこで得た知識や考え方を基に、実生活の様々な課題に取り組みむことを通じて、自らを高め、より良い生活を創り出していきます。そして、この体験活動には、次のような効果が期待できるとされています。

- ① 現実の世界や生活などへの興味・関心、意欲の向上
- ② 問題発見や問題解決能力の育成
- ③ 思考や理解の基盤づくり
- ④ 教科等の「知」の総合化と実践化

- ⑤ 自己との出会いと成就感や自尊感情の獲得
 - ⑥ 社会性や共に生きる力の育成
 - ⑦ 豊かな人間性や価値観の形成
 - ⑧ 基礎的な体力や心身の健康の保持増進
- また、自然体験の多い子供の中には道徳観、正義感のある子供が多く、また、勉強に対してやる気が出る子供たちが増えるという統計結果もあります。

このように豊かな経験は子供たちを大きく成長させます。自然との触れ合いは勿論、スポーツ活動、勤労体験、ボランティア活動、手伝いなど多くの直接体験をすることによって子供たちは成長していきます。勿論楽しい体験も必要ですが、「豊かさでなく貧しさ、不便さの体験」「温かい保護ではなく汗を流し、泥にまみれる試練の体験」「受け身ではなく挑戦する心を育てる体験」…。色々な苦しい体験を通じて、子供たちは本当の自分を知り、自立心や他者への思いやり、命の大切さを知っていきます。本校では、これまでも多くの直接体験の機会を設けてきました。植物や野菜を育てたり（主に一年生から三年生）、福祉の学習の一環としてブラインドサッカーや盲導犬体験、高齢者体験（主に四年生）宿泊体験、音楽鑑賞教室、美術館めぐり、（主に五、六年生）など様々な体験活動を行ったりしています。

そして、何といっても本校の特色でもある『夏休み港南クラブ』は他校では味わえない直接体験の場でもあります。今年度も100以上のプログラムを準備しています。普段の授業では味わえない「直接体験」のプログラムに是非沢山の子供たちが参加してくれることを願っています。

安全に気を付けましょう

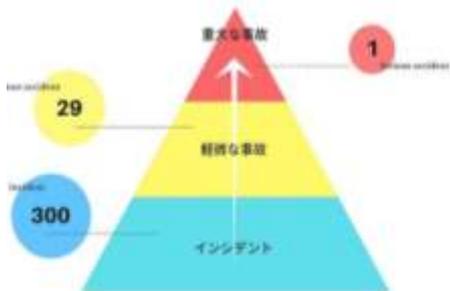
ハイリッヒによれば、一つの重大な事故には三〇〇のヒヤリハットが潜んでいるとされています。一人一人の安全意識を高めていくことが肝要です。

今年度の避難訓練も様々な場面を想定し、一学期から地震、火災、不審者対応、津波対策と状況を変えて訓練を実施しています。

また、水泳学習が始まり、みんなの命を守るためには、一人一人が約束を守る必要がなければならぬことも重ねて指導しています。廊下の歩き方など、普段から「安全」をより一層意識させて生活させていきます。

夏休みの過ごし方について、保護者会にて資料を配布いたしますので、ご家庭で確認するようお願いいたします。

（生活指導主幹 小清水 孝）



8月の主な行事予定

- 1日 (木) 夏季水泳教室A⑤【検定日】
- 2日 (金) 夏季水泳教室B⑤【検定日】
- 20日 (火) 夏季水泳教室A⑥
- 21日 (水) 夏季水泳教室B⑥
- 22日 (木) 夏季水泳教室A⑦
- 23日 (金) 夏季水泳教室B⑦
- 26日 (月) 夏季水泳教室A⑧
- 27日 (火) 夏季水泳教室B⑧
- 28日 (水) 夏季水泳教室A⑨【検定日】
- 29日 (木) 夏季水泳教室B⑨【検定日】
- 30日 (金) 夏季休業日終

☆9月2日(月)【土曜時程】始業式(8:30~)、
幼小中合同引き渡し訓練(10:15~)

副校長より

夏休みまであと三週間となりました。七月、八月は水の事故について聞かされる事が多くあります。学校でも水泳学習が始まり、泳法のみならず、安全指導にも力を入れて指導してまいります。学校で学んだことが子供たちの自信となり、力となることを願っております。

さて、今年六年生はTOKYO GLOBAL GATEWAY(以下TGG)へ行ってまいります。本校としては初の試みであり、日頃の国際科での学びを生かしほしいと思っております。TGGは、昨年九月にオープンした体験型の英語学習施設です。東京都英語村とも言われ、様々なアトラクションが用意され、レ

ス、トララン、ホテル、フアストフード等でのコミュニケーションを体験したり、プログラミング、ニュース取材、文化を紹介する等、グループワークやディスカッション等が体験できたりします。日本にいながら英語で体験できる施設であります。今までの学習を実践し、英語が使えた、伝わったと子供たちにとって実りのあるものにしていきたくと考えております。

どの教科でも同じことが言えますが、学校で学んだことが、今後の人生の中で自分の力となり実践力として表れることを願ってやまないものであります。

(副校長

吉岡慎
原島謙一)

7月の行事予定

1日	月	全校朝会、セーフティタイム 社会科見学(4年) 保護者会(わかば、2・3・5年)15:00 港南クラブ申し込み開始
2日	火	げんきアップタイム、委員会
3日	水	集会、体育朝会、食肉市場見学(6年) 基礎・清掃なし下校時間変更
4日	木	校外学習(6年)、都学力調査(5年) 交通安全教室(3年)、お茶会(わかば) 港南クラブ有料講座集金日
5日	金	保護者会(1・4・6年)、 ふれあいコンサート(3年) 港南クラブ申し込み締め切り
6日	土	土曜授業日 、フレンドリータイム
7日	日	
8日	月	高学年朝会、クラブ活動
9日	火	低学年朝会、租税教室(6年) 不動産教室(1年)
10日	水	げんきアップタイム
11日	木	音楽朝会、歯科指導(3年) 不動産教室(6年)
12日	金	わくわく指導1学期終、避難訓練 基礎・清掃なし下校時間変更
13日	土	
14日	日	
15日	月	海の日
16日	火	
17日	水	わくわく教室面談期間始
18日	木	集会、体育朝会
19日	金	終業式、給食終了 夏季学園I事前検診13:30~14:50 基礎・清掃なし【14:20頃下校】
20日	土	夏季休業日開始
21日	日	
22日	月	夏季水泳教室A①、夏季学園I期始(5年)
23日	火	夏季水泳教室B① 夏季学園II期事前健診(5年)13:20~
24日	水	夏季水泳教室A②、夏季学園I期終(5年) 夏季学園II期始(5年)
25日	木	夏季水泳教室B②
26日	金	夏季水泳教室A③、夏季学園II期終(5年)
27日	土	すんごい水合戦をしよう
28日	日	
29日	月	夏季水泳教室B③
30日	火	夏季水泳教室A④
31日	水	夏季水泳教室B④

この他、学年ごとに夏季補習が予定されています。
詳しくは、保護者会資料や学年便りをご参照ください。

夏季水泳教室

- A 5・6年、2年(1~4組・5~7組)、4年
- B 3年(1~3組・4~6組)、1年(1~4組・5~7組)、わかば

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数(人)	25	228	220	235	214	203	193	1318

(6月28日現在)

六年生 移動教室

「リスペクト・エンジョイ・チャレンジ」

箱根移動教室では「リスペクト」「エンジョイ」「チャレンジ」という三つのめあてを立て、活動に取り組みました。

「リスペクト」では、家族や宿舎の方、見学生の方や先生方など、自分を取り巻く全ての環境に「あいさつ」を通して、感謝の気持ちを表すことができました。日に日にバスを降りる時に「ありがとうございます」が聞こえます」と当たり前のようには言えなくなっていました。

また、観光客の落とし物を進んで拾い、感謝されることもありました。港南小学校の最高学年として素晴らしい姿が見られました。

「エンジョイ」では、小田原城や箱根関所など、見て楽しみながら学ぶことができました。宿舎に戻ると、見て学んだことをしっかりとしおりにまとめる姿も見られました。



(六年担任 栗田 純)



した。また、杉並木・旧街道石畳では、「意外と長いな」「草履で歩いていたなんてすごい」などと当時の様子を想像しながら実際に歩きました。そして甘酒茶屋では、箱根の歴史を感じながら甘酒をいただき、ほとんどのクラスが完食できました。

「チャレンジ」では、自立した生活に挑戦しました。特に班長を中心に、時間の見通しをもつて行動したり、自分たちで上履きをきちんと整えたりすることができました。お互いに声を掛け合う様子が見られたことは素晴らしいです。これからも一人一人の「チャレンジ」意識をより高めてまいります。

課題別学習として、三つのコースから自ら課題を選択し活動しました。

産業コースでは鈴鹿かまぼこ館でちくわやかまぼこの作り方をしっかりと学んできました。鉄道コースでは、箱根登山鉄道に乗り、銭洗井弁天に行ったり、箱根カステラまんじゅうをいただいたりしました。芸術コースではガラスの森美術館でサンドブラスト体験をするなど、よい思い出となりました。

移動教室での学びを今後の学校生活に生かし、下級生の手本となる最高学年として行動できるよう、指導を続けてまいります。

二年生より

遠足

【上野動物公園】

六月四日（火）、晴天に恵まれて貸切バスで上野動物園へ行きました。五月二十一日に雨天延期になったため、子供たちにとっては待ちに待った遠足となりました。保護者ボランティア五十名のご協力のもと、安全に活動することが出来ました。ありがとうございます。ございました。

午前中は、東園でクイズを解きながらスタンプラリーを楽しみました。クイズに正解してスタンプをもらう子供たちはとても嬉しそうでした。班長を中心に、園内の回り方を考え、動物の観察を行いました。教員や保護者ボランティアの方に相談しながら、自分たちで考え、行動する姿に成長を感じました。



(二年担任 嵐 一寛)

午後には、西園を班ごとに回りました。爬虫類館が大人気でした。道徳で「おじさんの手紙」という公共マナーについての学習をしていたこともあり、バスの中では静かに過ごすことができていました。以下、子供たちの感想です。

「きりんは、舌が黒で驚きました。よく見ると目にまつ毛がありました」

「スタンプラリーを始めてやってみると楽しかったです。みんな協力しながら集めました」「いい一日になりました。遠足のことをお忘れません」

小学校に入ってから初めての遠足は、芝浦中央公園に行きました。前日から「楽しみだな」「早く行きたいな」という声が多く聞かれました。芝浦中央公園は、とても広く二箇所の場所で遊びました。一つ目の場所では、遊具で一人一人が思いっきり遊んでいました。二つ目の場所では、クラス遊びを行いました。事前に各クラスで遊ぶ内容を決め、「だるまさんがころんだ」や「手つなぎおに」「ドロケイ」など、いろいろな遊びをしました。

【芝浦中央公園】

(一年担任 茂垣 夢佳)

たくさん汗をかき、「早くお弁当を食べたい」と言っている子が多く、おいしそうにお弁当を食べている姿が見られました。当日は、雨が降りそうでしたが、交通安全に気を付けて帰ってくることができました。

読書クラブは、四年生四人、五年生六人、六年生一人の計十一人で活動を行っています。

本を読むことが大好きな子供たちが集まっています。毎回の活動では、読書をして本の世界を楽しんでいます。活動の後半では、おすすめの本をお互いに紹介し合い、次の活動で読みたい本を考えています。

今後は、読書の楽しさを全校児童にも伝えていくことを計画していて、そのためにおすすめの本を紹介するポスターを作成し、校内に掲示する予定です。また、自分たちでお話を考え、本を作ってみようとも考えています。

このように、本の世界に心ゆくまで没れる読書クラブです。

(読書クラブ担当 三和 あかね)

サッカークラブでは、今年度もサッカー好きな子がたくさん集まりました。六年生六名、五年生七名、四年生十九名の計三十二名で活動しています。六年生が、各チームのキャプテンとしてチームを引っ張り、毎回楽しく行っています。

ゲームの前に、チームごとの練習の時間を取り、キャプテンを中心に内容を考えて取り組んでいます。ゲームではミスした人を責めるのではなく、励まし合いながら、最後まで一生懸命にボールを追いかける子供がたくさんいます。上級生を中心に子供たちの良い姿をもっと増やしていきたいよう、指導していきます。



(サッカークラブ担当 小池 裕也)

陸上クラブ

陸上クラブは、四年生十九名、五年生十一名、六年生二名の計三十二名で活動しています。

活動内容は短距離走や長距離走などの走の運動。高跳びや幅跳びの跳の運動を月ごとに行っています。

陸上クラブでは、子供たちが自分たちで活動を行うことを意識して活動しています。タイム計測やチーム決めなども、自分たちで考え、協力し合いながら取り組んでいます。陸上クラブで学んだ自主性や異学年の友達と協力する大切さを、日常の学校生活に生かしていけるように、今後も指導してまいります。

(陸上クラブ担当 高橋 佳大)



卓球クラブ

卓球クラブは、三十八名という大勢の児童で構成されていて、体操スペースで活動しています。多くの児童がいるので、自分の技術に合った友達と練習することができます。できるようになった技を見せ合ったり、ラリーを続ける練習をしたり、児童がそれぞれ上達したいことに目を向けて活動しています。下学年が上学年に混じって一緒に練習するなど、クラブ活動のよさを楽しんでいます。

六年生が軸となってクラブを運営し、シングルスやダブルスで試合を行うことを計画しております。今後は、どの学年も自分の役割を果たし、力を発揮できる卓球クラブにしていきます。

(卓球クラブ担当 中原 真)



給食室より

港南小の学校給食は、出来立てを食べてもらえるように、学校の給食室で作っています。本校は児童、教職員合わせて毎日約一四〇〇人分の給食を作っています。給食に携わっているのは調理員十四名と栄養士です。

子供たちは毎日給食時間を楽しく過ごしています。また、「今日の給食おいしかったよ」「今日も残さず食べたよ」「明日の給食はなあに？」と嬉しそうに声をかけてくれる子供

たちもいて、給食に携わる者として、とてもうれしく思います。

目の前の給食をただ食べるだけでなく、生産者や流通に携わる人、そして食事を作ってくれる人たちの苦勞も考えながら「感謝していただく」ことを身に付けていってほしいと思います。

(栄養士 佐藤 美知)



図工専科より

四月に港南小の子供たちと出会い、三か月が経ちました。子供たちは自分の考えを工夫して表現することにとっても意欲的で、いつも友達と関わりながら楽しく活動しています。作品づくりにも夢中になる姿や「できました！」と達成感を感じている姿は図工専科としての大きな喜びです。毎日、教師の予想を超える工夫や柔軟な発想に出会うことができ、子供たちに内在する想像力の豊かさを実感しています。

図画工作科において大切にしていることは、自他の表現の異なるよさに気付くことです。校内では、学習の成果を互いに鑑賞できるように、常時図工作品を展示しています。他学年の作品に関心をもったり、友達の表現に関心をもつて感想を言い合ったりする中で、自己肯定感や多様性を尊重する心情が育まれてほしいと願っています。

(図工専科 金子 文香)